

子ども食堂などへ備蓄品を贈呈急時用社内備蓄品

株式会社福島放送は、緊急時用に社内に備蓄している食料品の一部について、賞味期限に余裕がある食料品を子ども食堂に届ける取り組みをしています。この度、第2弾として、リコージャパン福島支社の協力をもとに、郡山市、福島市、いわき市のNPO法人などを通じ、子ども食堂などへ寄贈しました。



■2022 年 11 月 24 日（木）「NPO 法人しんぐるべあれんと F・福島（郡山市）」

贈答品：アルファ米（ひじき、わかめ、五目）計 265 袋

缶入りクラッカー 48 缶

■2022 年 11 月 29 日（火）

「NPO 法人ザ・ピープル（いわき市）」

贈答品：

アルファ米（ひじき、わかめ、五目）計 260 袋

缶入りクラッカー60 缶



■12/6（火）「NPO 法人ビーンズふくしま（福島市）」

贈答品：アルファ米（ひじき、わかめ、五目）計 315 袋

缶入りクラッカー48 缶



KFB 福島放送 広報室

2022/10/13

郡山市社会福祉協議会へスナック菓子を寄贈

福島放送は 10 月 13 日、郡山市社会福祉協議会にスナック菓子 4500 本を寄贈しました。このスナック菓子は 10 月 1 日・2 日にビッグパレットふくしまで開催した「KFB まつり 2022」の会場に設けた自社のSDGsの取り組みを紹介するブースで、SDGsに関するクイズを実施した際にクイズの正解者への景品として用意していたものです。

福島放送の代表取締役社長の古川伝は「お役立ていただければありがたい。1 回 1 回は微々たるものではあるが継続していきたい」と寄贈しました。

郡山市社会福祉協議会の太田健三会長によると、コロナ禍で社協も募金やイベントなどの活動を制限せざるを得ない難しい状況になっているということです。郡山市内には子ども食堂 19 か所と保育所などが 55 か所あり、今回寄贈した菓子はそれらの施設を利用する子供たちに提供される予定です。



▶寄贈を受ける太田健三会長(左)と古川伝(右)

SDGsに取り組む福島放送は、今後もこうした活動を継続する予定です。

この件に関する問い合わせ
福島放送広報室
024-933-5851

2022/10/06

フードバンクへの食料品の寄贈

(株)福島放送は10月6日、ひとり親家庭への支援団体「NPO 法人しんぐるぺあれんとF・福島」(郡山市)に食料品を寄贈しました。食料品は、社員など福島放送で働く人たちの家庭で余っている保存用食品などを集めたものです。今回は、先んじてフードバンクへ食料品を届ける取り組みをしているリコージャパン福島支社と共同で寄贈しました。

支援団体の遠野馨理事長によると、団体に支援を求めるひとり親世帯は日に日に増えていて、コロナ禍と物価高の影響で生活がさらに厳しい状況になっているということです。運営は企業や個人の支援で成り立っていて、支援の輪が広がるよう協力を求めています。



SDGsに取り組む福島放送は、今後もこうした活動を継続する予定です。

この件に関する問い合わせ
福島放送広報室
024-933-5851

■ 5/24 「NPO 法人 ザ・ピープル」(いわき市)



【出席者】

- ・人見順子事務局長（ザ・ピープル）（写真中央）
- ・稲本寛 BP 営業2 グループマネージャー（リコージャパン福島支社 ）（写真右）
- ・KFB池田支社長

★贈呈品

カロリーメイト（チョコレート味）計 600 本（ブロック 2 本入り 1 箱×300）

【人見局長のコメント】

大変ありがたい、食料品の支援件数は年々増えており、今日のご飯を食べられない人がいる。そのまますぐに食べられるものありがたい。

■ 5/23 「NPO 法人ビーンズふくしま」(福島市)



【出席者】(写真左から)

- ・戸部真里さん(リコージャパン福島支社 福島営業所 所長)
- ・江藤大裕さん(特定非営利活動法人ビーンズふくしま 福島事業部門長)
- ・KFB佐藤吉宗支社長

★贈呈品

カロリーメイト(チョコレート味)計600本(ブロック2本入り1箱×300)

【江藤さんのコメント】

多くの子どもたちが集まる場所として、子ども食堂を運営している。今回の寄贈品は、たいへんありがたい。(カロリーメイトのようなものは)子どもたちも大好き。

これから夏休みを迎え、提供する機会も多いだろう。賞味期限まであと3カ月、4カ月でもまったく問題ない。1膳のごはんを家族で分け合っているような家も現実にある。

子ども食堂への備蓄品の贈呈

福島放送では、緊急時用に社内に備蓄している食料品について、賞味期限に余裕がある食料品を子ども食堂に届ける取り組みを始めました。

この度、リコージャパン福島支社の協力をもとに、新型コロナウイルスの影響による急速な経済状況の悪化から失業や貧困など生活に多大な影響が出ている家庭に対し、備蓄品の贈呈を行いました。今回は、郡山市、福島市、いわき市のNPO 法人を通じ、ひとり親家庭や子ども食堂などへの寄贈となりました。

福島放送では、今後もこういった取り組みを続けていく予定です。

◇贈呈時の様子

■5/18「NPO 法人しんぐるまざあず・ふぉーらむ・福島」（郡山市）



【出席者】

- ・遠藤馨理事長（NPO 法人しんぐるまざあず・ふぉーらむ・福島）（写真左から2番目）
- ・大山輝雄支社長（リコージャパン福島支社）（写真左）
- ・一重取締役、早川取締役(福島放送)

★贈呈品

カロリーメイト（チョコレート味）計 600 本（ブロック 2 本入り 1 箱×300）

【遠藤理事長のコメント】

コロナ禍で、母子家庭など困っている人が増えており、こうして寄付を頂いたものがまとまったら、お届けしたい。また認定 NPO の資格を得られたら、こういった活動や取り組みをたくさんの方に知っていただけるよう訴えていかなければいけないと思っている。今日はご支援頂きましてありがとうございました。